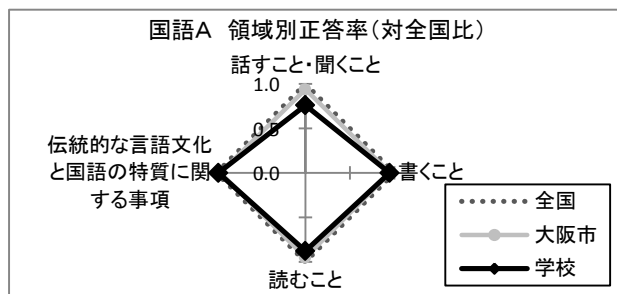
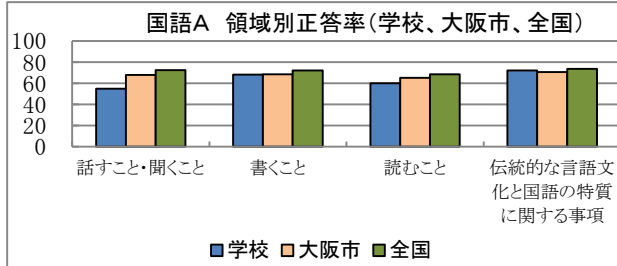


【国語】

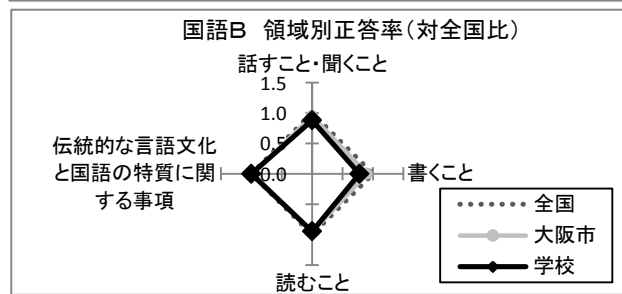
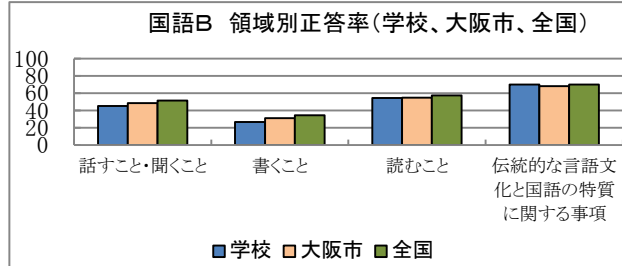
結果の概要

A問題の平均正答率は、69.3%である。全国平均よりも「話すこと・聞くこと」は17.4p、「書くこと」は3.9p、「読むこと」は8.5p、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は1.6p下回った。
B問題の平均正答率は、51.5%である。全国平均よりも「話すこと・聞くこと」は6.2p、「書くこと」は7.7p、「読むこと」は6.2p、「書くこと」は3p下回り、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は0.2p上回った。

A 問 題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	1	55.0	67.9	72.4
	書くこと	3	68.3	68.5	72.2
	読むこと	2	60.0	65.1	68.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	12	72.1	70.6	73.7



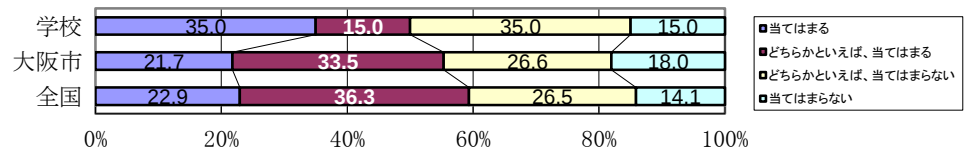
B 問 題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	45.0	48.3	51.2
	書くこと	3	26.7	30.9	34.4
	読むこと	7	54.3	54.6	57.3
	伝統的な言語文化 と国語の特質 に関する事項	2	70.0	67.9	69.8



国語に関する「児童質問紙」

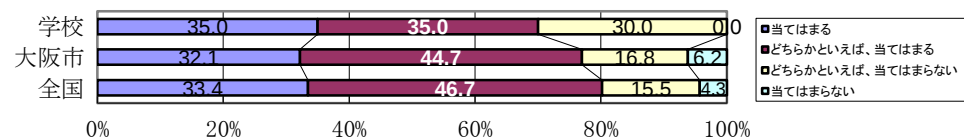
50

国語の勉強は好きですか



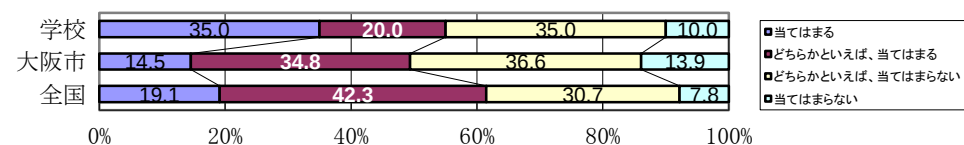
52

国語の授業の内容はよく分かりますか



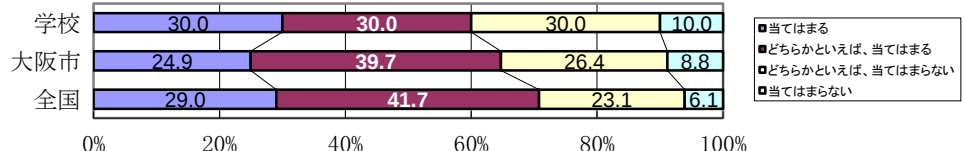
55

国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



57

国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



成果と課題

「言語活動の充実」を通して「思考力・判断力・表現力」を伸ばす実践や、読書活動の継続により、前後の文からふさわしい内容を選択する力が伸びている。しかし、内容を正確に捉えて読み取ったり、出された条件を満たして簡潔な文を書いたりすることにさらなる努力が必要である。「話すこと・聞くこと」では、話し手の意図を捉えて聞き、自分の考えを整理して分かりやすく話すことに大きな課題がある。また、「故事成語」が日常生活で活用されることが少なくなり、意味や使い方が理解できていない児童が多いたことにも注目し、今後の国語指導の在り方について研究を深める。

今後の取組

①「学習教材データ配信」等を活用し、漢字や語句の意味等、基礎的・基本的な事項の指導を継続して行う。②話し合い活動を取り入れた授業を展開し、自分の考えを明確にして意見や思いを述べる力を伸ばす。③読書習慣をさらに定着させ、共通点や相違点に着目して読み、自分の考えを書く力を育む。④習熟度別少人数授業を通して、一人一人の習熟の程度に合った指導を進める。⑤「故事成語」について、日常生活と関連させた指導を取り入れる。⑥他教科においても、複数の資料を正確に読み取ったり、必要な資料を選択し活用する学習を意図的に設定する。